

CeBIT 2012

<http://tech.cn.yahoo.com/yphen/20120308/912560.html>

3月の早春。

まだ寒い季節、ドイツハノーバーはグローバルICメーカーの情熱で熱く盛り上がりました。3月6日、世界最大の情報通信およびソフトウェアの展示会—国際情報通信技術博覧会 (CeBit 2012) が開幕しました。



CeBit 2012 のテーマは“管理と信頼”、デジタル時代の信頼性とセキュリティを強調しており、多くの出展メーカーはセキュリティと信頼の問題について、独自のソリューションを出展しました。その中でも中国は、ハノーバー展覧会の協力国として参加しました。ハノーバーCeBit 展覧会も豊かな中国風になっています。

CeBit2012 は “管理と信頼”からクラウド技術に焦点を当てます。

インサイダーからの指摘：

「デジタル世界の中心にあるCeBitは出展者と来場者を、デジタルビジネス、デジタル政府、デジタル研究所、デジタルライフにおいて、さらに密接なものとなりました。

近年では、ビジネスモデルの統合により、多くの分野での共同相互運用性、とのシームレスな接続

で「クラウドコンピューティングは、ICT 技術(情報・通信に関連する技術一般の総称である。)開発の重要な課題となっています。」

近年では「情報セキュリティの脅威が急速な成長が見られました。

特に、ある一部の金融や通信企業では頻繁にデータの損失が発生し、企業の幹部はデータ*セキュリティの管理を注目しています。今年の CeBit で提案された信頼管理、デジタルセキュリティとクラウドサービスのセキュリティには業界から高い要求がされました。



Centerm 社の海外セールスディレクター鄭旭氏は記者のインタビューで以下のように語りました。



アジア太平洋地域におけるシンクライアントと「デスクトップクラウド」トータルソリューションプロバイダーと主要な電子決済提供メーカーとして、Centerm 社はいわゆる CeBit の常連客です。Centerm 社は今年で3度目の参加で「デスクトップクラウド」トータルソリューションおよびプロフェッショナルな最先端の決済 POS やプログラムを展示しています。

報告によりますと、クラウドコンピューティングをテーマとして参加している Centerm 社は展覧会のテーマであるクラウドコンピューティングを中心に宣伝しています。特に「デスクトップ*クラウド」と業界トップレベルのトータル*ソリューションを展示しています。また、ヨーロッパ市場に向け POS 分野での新しい成果を紹介しています。

鄭旭氏は「顧客満足で得る経験が最高」と言います。展覧会では、Centerm 社が自社研究開発をした製品を体験できます。シンクライアント、知能機械を代表するクラウドコンピューティング端末と、様々なタイプのクラウド管理ソフト製品があります。存分に Centerm 社のクラウドコンピューティングの実力と技術とイノベーションの強さを理解してもらおうつもりです。

皆がクラウド技術を見守っています。

Centerm 社は“クラウドデスクトップクラウド”技術を宣伝します。

“クラウド技術の開発は、近年の IT 分野の反映です。全体的なソリューションは、IT ベンダーの全体的な強さを測定するための試金石となります。そして、鄭旭氏は「現在 Centerm 社はクラウドコンピューティングの‘端末’‘管理’‘クラウド’の3方面において全力で発展しています。より効果的に実現する方法に焦点を当て、より安全なクラウドコンピューティングをビジネス化することに重点を置いています。」

“端末”とは クラウド*コンピューティング端末や周辺機器です。

“管理”とはCDMS管理ソフトを代表とする、様々なクラウド管理ソフトウェアです。

“クラウド”とは前述の二者の優勢を統合し、銀行、政府、保険、製造、医療、教育等業界のために合わせたソリューションです。

展覧会である業界の専門家(鄭旭氏)は記者団に語った。

クラウド*コンピューティングは主にインテリジェントでデータ解析、ネットワークキング、ストレージ等の方向を廻っています。

そして、それは徐々にクラウド*サーバ、ストレージ、ネットワーククラウド、金融クラウド、通信クラウド、エンタープライズ*クラウド、医療クラウドの商用アプリケーション等の様々な分野に応用していきます。

たとえば、クラウドコンピューティングはビジネス*アプリケーションの応用で、周辺機器の互換性等で技術的な問題があります。しかし Centerm 社はこれらの領域で強力な技術と市場の経験を持っていることが、Centerm 社の急速な成長の理由にあります。

我々は、産業ユーザーが迅速に IT インフラストラクチャの変革を実現したいという切迫感を理解しています。Centerm 社の“デスクトップクラウドのトータルソリューションは、データのセキュリティと安全に基づいて、ユーザーエクスペリエンスとコストのバランスを考えながら、産業分野のお客様を支援します。できるだけ早くクラウドコンピューティングビジネス*アプリケーションの価値を発揮していきたいと考えています。

また、鄭旭氏は記者に以下のように紹介しています。

“中国の独自の強みは、CeBit の展示会の主なハイライトになります。今回の CeBit は中華系の実力から考えると、ASUS、MSI、Acer 等企业は台湾伝統の実力といえます。





Centerm 社等中国の優秀なメーカーは、長年にわたって成長しており、市場をリードする新しい力です。Centerm 社からの情報によると、Centerm 社の製品はアジアに定着し、米州、ヨーロッパ、オセアニアなど、国際的に主要な市場をカバーしています。